

日本語



iCare HOME2

操作ガイド

icare

iCare HOME2
操作ガイド



眼圧計を使用する場合は、始めにこの
クイックガイドをご覧の上、また HOME2
トレーニングビデオをご視聴ください。
ステップごとに手順を実行します。



安全情報については、眼圧計を使用する前に、
取扱説明書の第1章をお読みください。

iCare HOME2 の眼圧計の使用に関してご不明
な点がある場合は、医療従事者にお問い合わせ
ください。



注意事項! 測定を行う前に、設定から眼圧計の
時刻を手動で現地時間に更新するか、眼圧計
をiCare PATIENT2 アプリケーションまたは
iCare EXPORT ソフトウェアに接続して自動更
新してください。

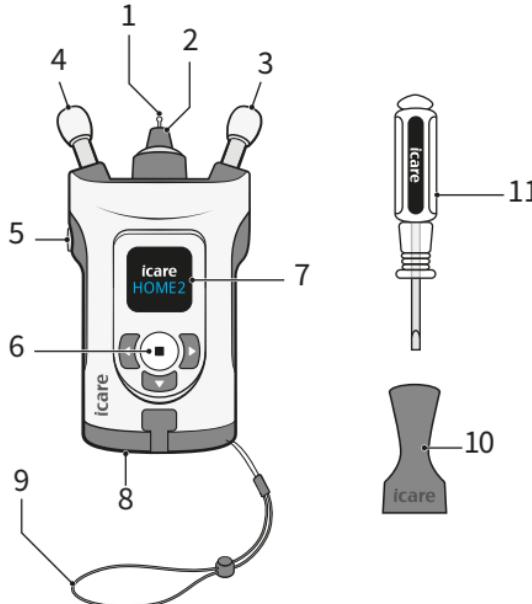


ステップ

ページ

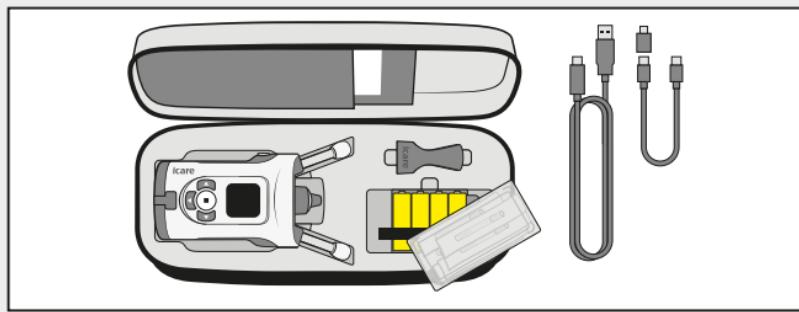
1	電池を装填する	5
2	プローブを装填する	6
3	眼圧計の電源を入れる	8
4	測定向きの調節	9
5	測定位置の調節	10
6	眼圧の測定	12
7	仰向での眼圧測定	14
8	トラブルシューティング	16
9	眼圧計の電源を切る	18

各部名称

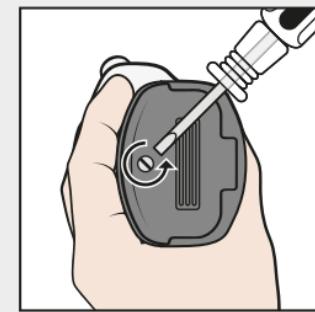


- 1 プローブ
- 2 プローブベース
- 3 頬あて
- 4 額あて
- 5 測定ボタン
- 6 セレクトボタン
- 7 ディスプレイ
- 8 電池カバー
- 9 リストストラップ
- 10 プローブアプリケーター
- 11 マイナスドライバー

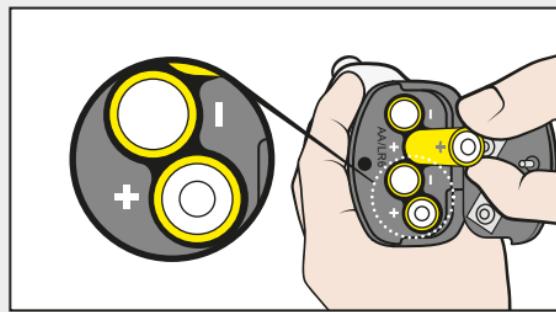
電池を装填する



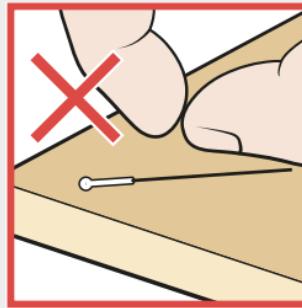
電池は携帯用ケース内、プローブの下に収納されています。



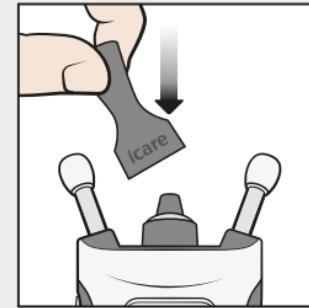
電池カバーをドライバーで開きます。



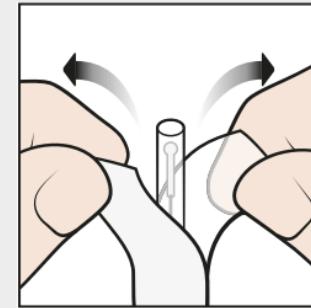
電池を挿入してカバーを閉じます。



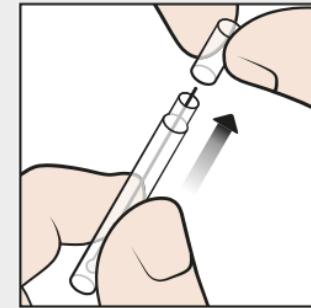
殺菌されていない表面に触れてしまったプローブは、使用しないでください。



プローブベースにプローブアプリケーターを置きます。



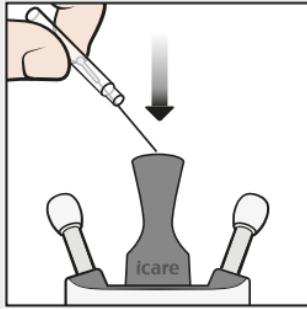
滅菌ブリスタパックを開封します。



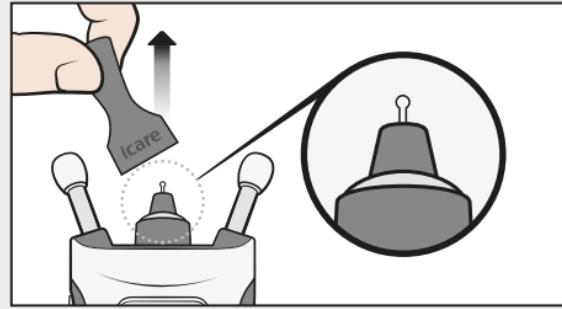
プローブが入っている筒状ケースのふたを取り外します。



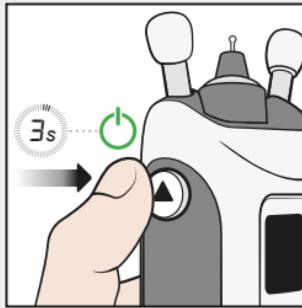
警告！汚染を防ぐために、未使用的プローブは箱の中に保存してください。むき出しの状態のプローブに触れないでください。プローブがテーブルや床など、殺菌されていない表面に触れてしまった場合、使用しないでください。



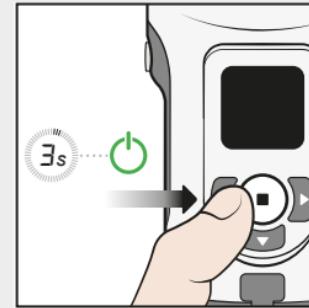
筒状ケースを逆さにして、プローブをプローブアプリケーターに装填します。



プローブアプリケーターを外します。

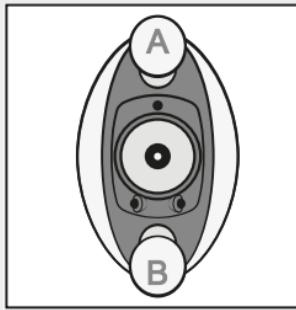


または

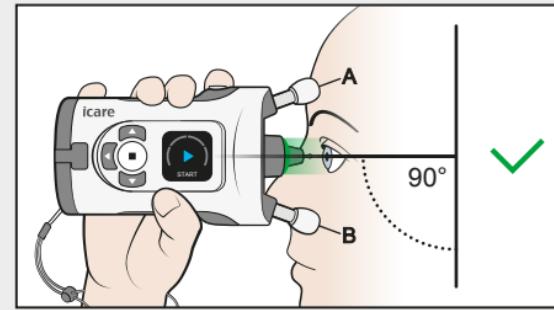


ビープ音が聞こえるまで \blacktriangleright を押し続けます。眼圧計の電源を入れるディスプレイに「開始」というテキストが表示されます。

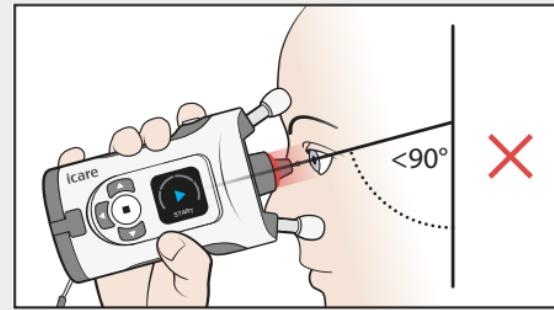
または、ビープ音が聞こえるまで、 \blacksquare を押し続けます。次に、 \blacksquare をもう一度押すと、測定モードになり、ディスプレイに「開始」と表示されます。



額あて A を額に当て、頬あて B は頬に当てます。

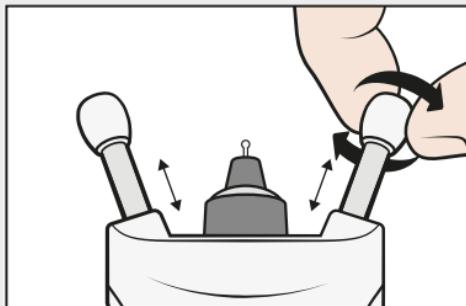


まっすぐ前を見て、眼圧計が顔に対して 90 度の角度になるようにします。この時プローブが角膜の中心をまっすぐ向くように保持します。プローブの先端から角膜までの距離が 5mm になるように調節ダイヤルを回して調節します。

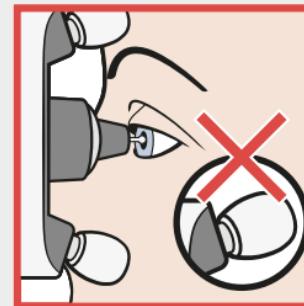


プローブベースのランプが赤く点灯している場合、眼圧計は下向きに傾きすぎています。姿勢を正し、額を持ち上げてください。

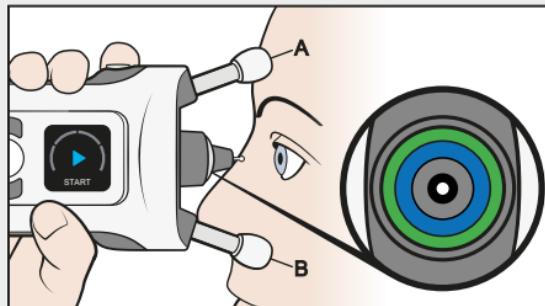
次のセクションにしたがって、眼圧計の位置を決めてください。



測定前に、額あてと頬あてを正しい長さに調整します。額あてと頬あては長さを最大にしてから調節します。



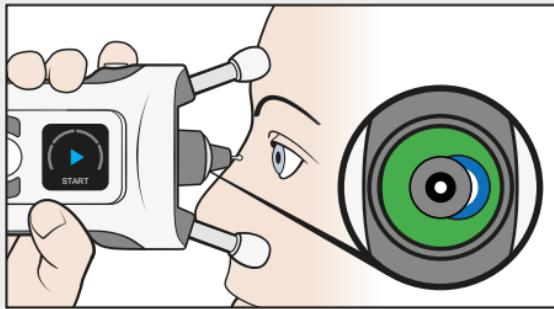
眼圧計が眼に近付き過ぎないように、額あてと頬あてのダイヤルは少しずつ調節してください。



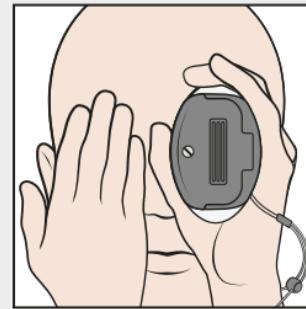
眼圧計を顔に当て、プローブベースランプを覗き込みます。プローブベースの青色と緑色のリングが対称になっている場合、眼の中心に対して垂直になっています。



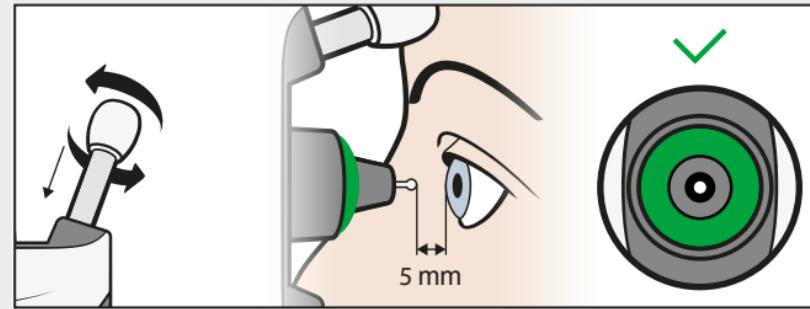
警告! 眼に接触してよいのはプローブのみです。眼圧計の他の部分が目に触れないようにしてください。眼圧計を眼に押し当てないでください。



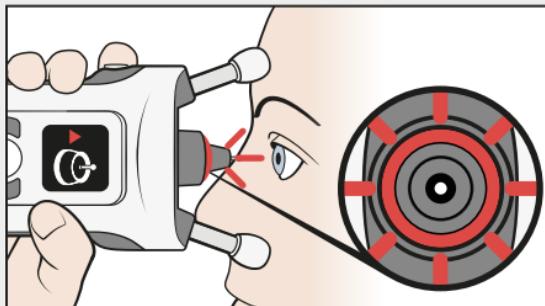
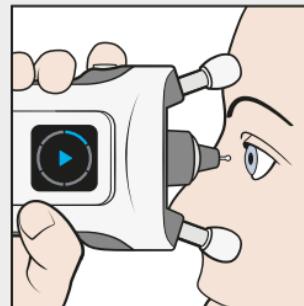
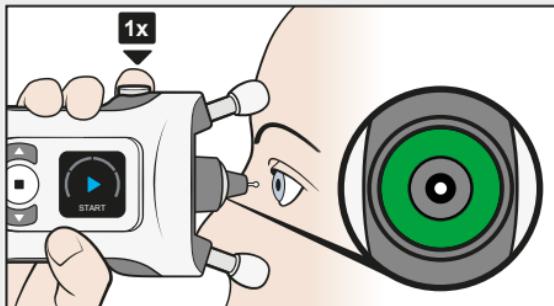
リングが対称になっていない場合、プローブは眼の中心に対して垂直になっていません。眼圧計の位置を調節してください。



両目は開けたままにしてください。測定しない方の眼を覆うと、リングがよりくっきり見える場合があります。



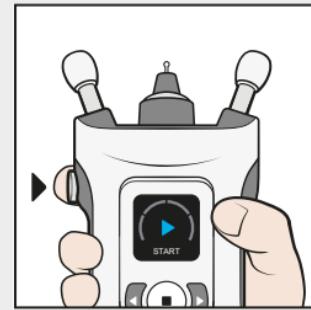
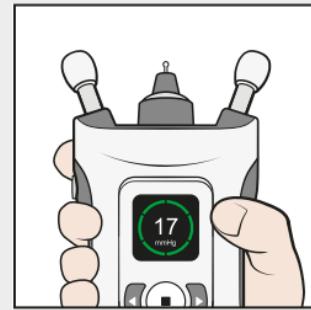
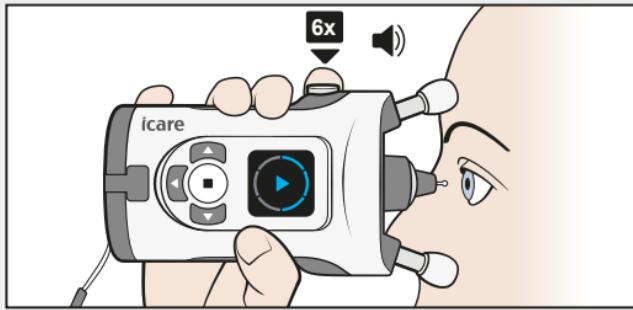
緑色のリングが対称に見えるまで、ダイヤルを1度に2回ずつ時計回りに回転させ、位置を調節します。これで、眼圧計は眼から適切な距離になります。



左右対称の緑色のリングだけが見えたたら、測定を開始します。「測定」ボタン▶を1度押します。プローブは、眼に優しく接触します。

測定が正常に完了した場合は、ビープ音が1回鳴ります。長いビープ音が聞こえ、プローブベースのライトが消えるまで、測定を継続します。

プローブベースが赤く点滅し、ビープ音が複数回聞こえた場合、測定に成功していません。17ページのトラブルシューティングを参照してください。

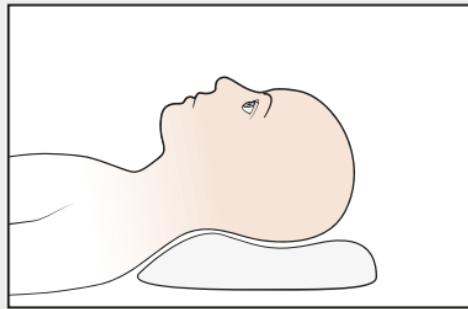


6回の測定を1セットとします。

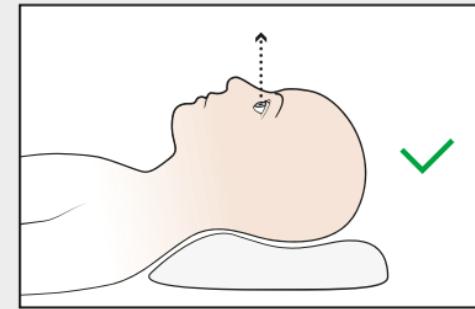
※6回の測定すべてを完了するまで「測定」ボタン▶を押し続けて、連続して測定を行うこともできます。

6回の測定がすべて正常に行われると、長いビープ音が聞こえます。プローブベースのランプが消え、ディスプレイに結果が表示されます。

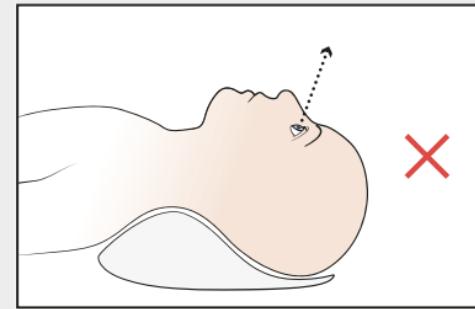
「測定」ボタン▶を1回押して、もう一方の眼で測定を繰り返します。



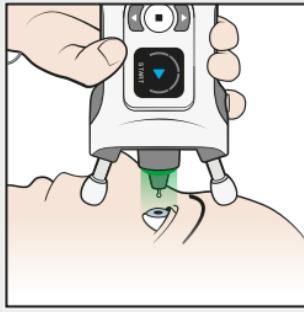
測定する前に、しばらく横になってください。



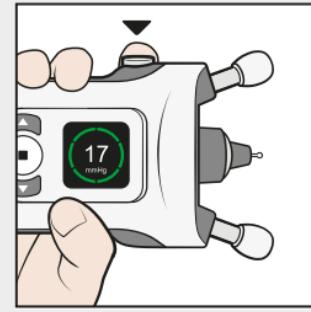
首の後ろに枕を入れ、楽な姿勢を取ってください。まっすぐ前を見てください。



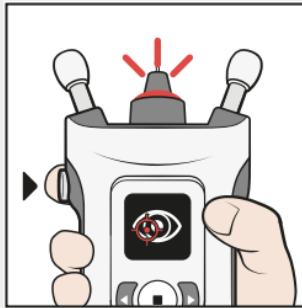
頭を後ろ向きに曲げないようしてください。



眼圧計を顔に対して
90度の向きに当て、
「6 眼圧の測定」で
示されているように
測定を行います。



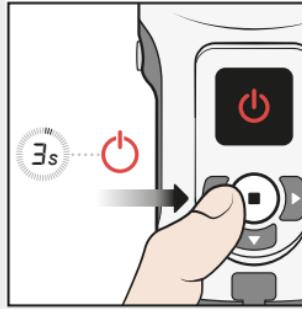
測定が正常に完了したら、
「測定」ボタン (▶) を 1 度
押して、もう一方の眼で測定
を繰り返します。



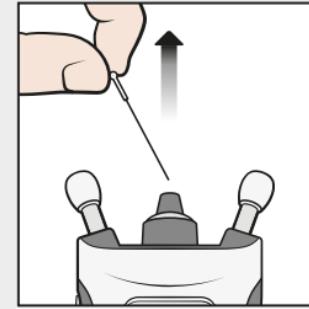
エラーが発生すると、プローブベースは赤色に点滅します。
ディスプレイとビープ音でエラーの原因を知らせます。

ディスプレイを確認したら、「測定」ボタン▶を1度押し、
必要な対処を行った後、測定を繰り返します。

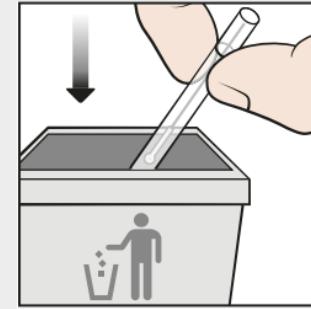
アイコン	表示テキスト	音	原因	対処法
	遠すぎます	長いビープ音 3回 	プローブが眼から遠すぎます。	「測定」ボタン  を 1 度押して、エラーを確認します。額あてと頬あてを短くします。
	近すぎます	短いビープ音 5回 	プローブが眼から近すぎます。	「測定」ボタン  を 1 度押して、エラーを確認します。額あてと頬あてを長くします。
	アライメントエラー	短いビープ音 2回 	プローブが角膜に対して垂直になっていたいなかったか、まぶたかまつげに触れていました。	「測定」ボタン  を 1 度押して、エラーを確認します。プローブが角膜の中心に向き、角膜の表面に対して垂直に触れるように眼圧計を保持してください。眼はしっかりと開けてください。
	再測定	短いビープ音 2回 	プローブが適切に動かなかったか、角膜以外に接触しました。	「測定」ボタン  を 1 度押して、エラーを確認します。測定を繰り返します。



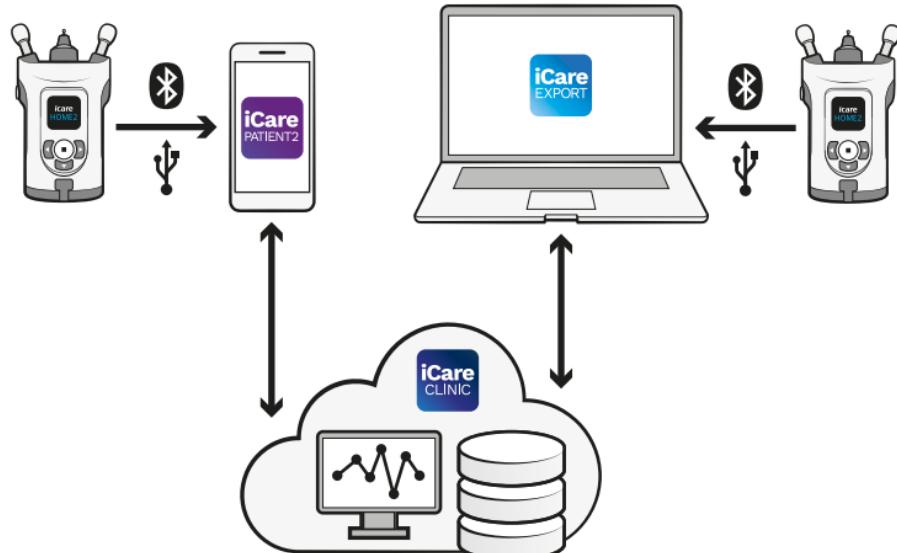
ビープ音が3回鳴り、
画面の表示が消える
まで、セレクトボタン
■を長押します。



プローブを取り外し、
プローブ容器に戻し
ます。



プローブは適正に処分
してください。



これで、お使いのモバイル機器の iCare PATIENT2 またはお使いのコンピューターの iCare EXPORT ソフトウェアを使用して、測定結果を医師の iCare CLINIC または iCare Cloud のプライベートアカウントに転送できます。



icare Finland Oy

Äyritie 22

FI-01510 Vantaa, Finland

電話 +358 9 8775 1150

info@icare-world.com

www.icare-world.com



詳細については、取扱説
明書を参照してください。

CE 0598

icare

iCareはicare Finland Oyの登録商標です。Centervue S.p.A.、icare Finalnd Oy、およびicare USA Inc.はRevenio Groupの一員であり、ブランドicareを代表しています。このパンフレットに記載の製品、サービス、または提供内容のすべてが、すべての市場で承認または提供されているわけではありません。また承認されたラベルと指示は、国によって異なる場合があります。製品の仕様は、継続的な技術開発の結果により、設計及び提供内容が変更される場合があります。